

どんなはしのもちかたが いいのかな

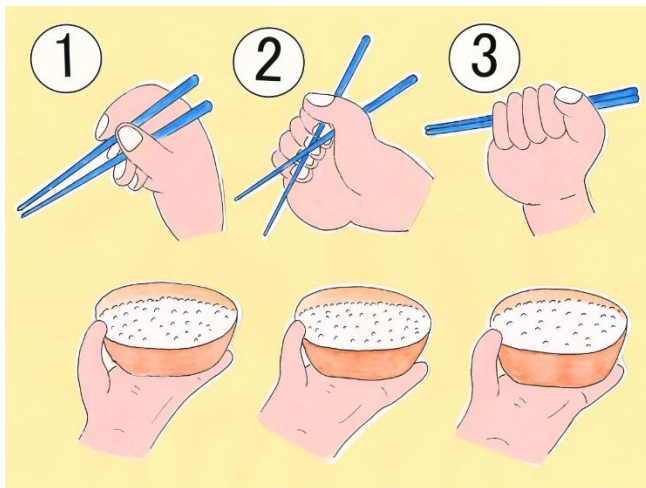


①「どんなはしのもちかたが いいのかな」



②「楽しい給食時間になりました。ただし君、よしこちゃん、まなぶ君は美味しそうに給食を食べています。

ただし君はごはん、おかず、みそ汁を順番にスムーズに食べていますが、よしこちゃんはおかずをうまくはしでつかめなくて、苦戦しています。まなぶ君は時々おかずを皿に落としています」



③ [三人のお箸の持ち方を見てみましょう。

①はただし君、②はよしこちゃん、③はまなぶ君のもちかたです。どのもちかたがいいのかな (児童) ほとんどの児童が①の持ち方に手を挙げる。

「正解はただし君です。この持ち方をすると一番無理なく上手にはしを使うことができます。でも、どうしてこの持ち方がいいのでしょうか？」 (児童) 「きれい」



④「そうですね。まずはしの先がくっついて鳥のくちばしのような形になるので、他の持ち方よりきれいに見えます。じつは、この持ち方をすると、無理な力をかけずに食べ物を『つまむ』『はさむ』『はずす』『はがす』『混ぜる』『くるむ』『切る』『ほぐす』などいろいろな使い方ができます。正しいはしの持ち方以外では、これらがうまくできません」

「はし」のもちかた

レッスン！①



⑤「正しいはしの持ち方をしてみましょう。
えんぴつを持つように、上のはしは親指、
人差し指、中指の3本で軽く持ちます。
親指は人差し指の爪の横にそえます」

「はし」のもちかた

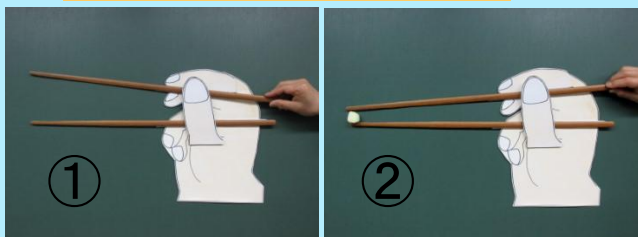
レッスン！②



⑥「下のはしは親指の付け根と薬指の
先ではさみます」

「はし」のもちかた

① → ② → ① → ②



レッスン！③

⑦「はしは上のはしだけ動かします。下のはしは動かしません」
『1、2。1、2』と動かしてみましょう」

マナーいはん①



まよいばし

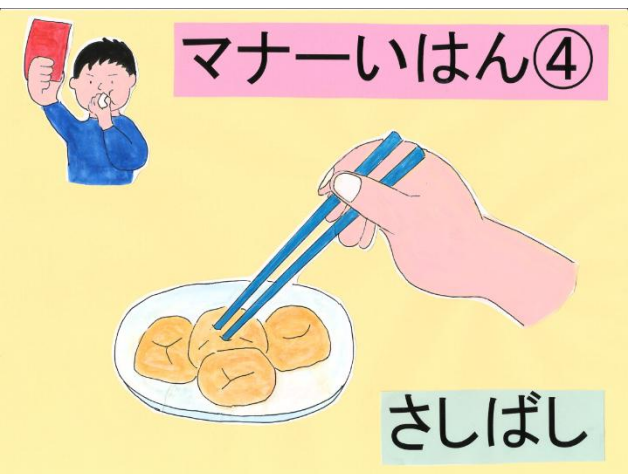
⑧「ではつぎに、はしの使い方でもうの人々にいやな思いをさせてしまうはしの使い方があります。してはいけないはしの使い方と理由について紹介します。こんなつかいかたはマナーいはんです。①『まよいばし』。『どれを食べようかな〜』と迷い、はしを持ったまま食べ物の上をあちこちと動かすことです。料理の上で、はしをあれこれ動かしてなかなか食べないでいると、周りの人にいやな感じを与えてしまうからです。何を食べたいかを自分で確認してからはしを出すようにしましょう」



⑨「こんなつかいかたはマナーいはんです。
②『なみだばし』。はしの先から料理の汁がポタポタと落ちることや、はしで取った食べ物から汁がポタポタと垂れることです。周りが汚れます。汁物の具は食器ごと手にとっていただきます。たれなどがついたものは、皿の上で余分なたれを落としてから、口に運びましょう。



⑩「こんなつかいかたはマナーいはんです。
③『ねぶりばし』。はしに付いたものを口に入れてはしをなめたり、くわえたりすることです。はしの先をいためてしまいます。さらに周りの人が見て、あまり気持ちのよいものではないからです」



⑪「こんなつかいかたはマナーいはんです。
④『さしばし』。はしで食べ物を刺して食べることです。はしの先をいためてしまいます。また食べ物を粗末に扱っているように見えます。取りにくい場合は、お皿を近くに持ってきて、とれるようにしましょう」



⑫「こんなつかいかたはマナーいはんです。
⑤『よせばし』。はしを使って食器を近くに寄せたり、押ししたりすることです。食器の底でお膳ぜんに傷をつけてしまったり、食器をひっくり返してしまったりすることがあります。食器はきちんと手で持ち上げて運びましょう」



⑬「はしを正しく持って使うことができると、見た目も美しく、料理もさらにおいしく食べられます。はしの『正しい持ち方・使い方』をすることで「おいしく楽しい食事に行きましょう」